

令和3年度糖尿病性腎症重症化予防プログラム取組状況調査 集計結果速報【暫定版】
 (※CKD対策部分を抜粋)

- 1 回答市町村数 53市町村／54市町村 (98.1%)
 2 CKD対策に取り組む市町村数 22市町村／53市町村 (41.5%)
 3 対象者抽出基準 N = 22

	回答数	割合
県基準【eGFR60未満】【尿蛋白(+)以上、尿蛋白2年連続(±)】	6	27.3%
独自基準	14	63.6%
未回答	2	9.1%
計	22	-

- 4 受診勧奨方法 (複数回答可) N = 22

	回答数	割合
①通知	18	81.8%
②電話	14	63.6%
③面接	8	36.4%
④訪問	10	45.5%
⑤その他 ・腎臓病地域連携バスを郵送 ・健診結果説明時、再検査結果説明時にかかりつけ医が判断し腎専門医に紹介・予約	2	9.1%
未回答	3	13.6%
計	55	-

- 5 受診勧奨実施状況 (令和3年4月～10月)

	回答人数合計	(参考) 回答市町村数
受診勧奨対象者数	1801	17
受診勧奨実施者数 (実数)	1672	17
(再掲) CKD対策協力医への受診勧奨実施者 (実数)	391	4
(再掲) 腎臓専門医への受診勧奨実施者 (実数)	136	4
受診勧奨後、受診した対象者数 (実数)	508	12

- 6 かかりつけ医との連携 (複数回答可) N = 22

	回答数	割合
①医療機関と事業実施について協議	14	63.6%
②県が作成したCKD対策協力医リスト・腎臓専門医リストを活用し受診先を紹介	3	13.6%
③医療機関と協議し、独自に受診勧奨先医療機関一覧等を作成し紹介	8	36.4%
④対象者が受診後、治療方針等を確認し保健指導	5	22.7%
⑤情報共有ツール作成	5	22.7%
⑥かかりつけ医が保健指導が必要と判断した場合の紹介方法を決めている	1	4.5%
⑦その他 ・健康診査結果報告書に情報共有 ・紹介状持参にて情報共有、返信にて④実施 ・受診結果報告書で受診状況を確認 ・慢性腎臓病地域連携バスを作成、かかりつけ医・二次医療機関・行政の連携を図る ・健診結果説明時、再検査結果説明時にかかりつけ医が判断し、腎専門医に紹介・予約 ・市医師会が推薦する腎専門医のリストと腎専門医の紹介基準を特定健診実施医療機関へ周知している。また、対象者が腎専門医を受診した際の検査結果を市へ報告する体制づくりをしている。	6	27.3%
未回答	4	18.2%
計	46	-